**放課後等デイサービスねくすと自己評価集計結果報告**

実施期間：令和3年3月2日　　回答数：　4名

1. **環境・体制整備**

➀利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。

➁職員の配置数は適切であるか。

➂事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。



【改善目標、工夫している点など】

・バリアフリー化について、可能な限り臨機応変に現場の環境配置を変えて配慮を行っている。それとともに、今後もより良い改善の余地にするよう努める。

**（２）業務改善**

➃業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。

➄保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。

➅この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。

➆第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

➇職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。





【改善目標、工夫している点など】

・保護者向けの評価・アンケート調査を2月に行っており、可能な限り改善に現在進行形で努めており、フィードバックしている。

・第三者による外部評価の「設定」はしており、内部では必要な自己評価と改善について随時頻繁に行っている。

第三者による外部評価を前向きに作っていく予定である。

・職員の研修については、すでに来年度も行う予定があり、同じく前向きに多く機会を作る予定である。

**（３）適切な支援の提供**

➈アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。

➉子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか。

⑫活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。

⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。

⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。

⑲ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。









【改善目標、工夫している点など】

・放課後等デイサービス計画については、相談員の提案や、子どもに実際見学に来て頂くことも判断材料に加えて作成している。

・子どもの適応行動の状況を図るためについては、事前に家族も交えモニタリングを行い判断、レイアウト作成をしてスタッフ間で共通理解したものもアセスメントのツールとして使用している。

・活動支援プログラムについては、日々アレンジ等向上に努め、季節に応じることも念頭において設定している。

・平日、休日、長期休暇に応じて、の課題設定はさらにその日の支援記録を見直したりスタッフ間で話し合い、修正、共通理解しその都度臨機応変に対応している。

**（４）関係機関や保護者との連携**

⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。

㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。

㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。

㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか。

㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。

㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

㉗（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。

㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。







【改善目標、工夫している点など】

・学校との情報共有（年間計画・行事予定等）については、ケース会議時に年間の行事等を依頼していく。

・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。　については支援相談員から情報提供を頂いている。

・学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか。　については該当利用者がいないため、行っていない。

・児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携は行っており、引き続き行う予定。

・保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援は日々の送迎時のみでなく、個別に相談機会と時間を設けて行っている。

**（５）保護者様への説明責任等**

㉚運営規模、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

㉛保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適宜応じ、必要な助言と支援を行っているか。

㉜父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。

㉝子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

㉞定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。

㉟個人情報に十分注意しているか。

㊱障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。

㊲事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。





【改善目標、工夫している点など】

・年に１回利用者だけでなく保護者や家族、支援相談員等を交えてイベントを行う予定だったが、新型コロナウイルスにより開催が出来なかった。新年度では新型コロナウイルスの状況下でのイベントを検討する予定になっている。

・保護者から面談希望があった時には、速やかに対応している。

・個人情報についてはケース会議でのデータベースをまとめた紙媒体の持ち出し、ＳＮＳでの保護者とのやりとりやブログに載せる加工前の写真も含めた電子保存媒体を必要な限りについてのみ持ち出すが、取り扱いについては今後さらに慎重に取り扱うようにしていく。

**（６）非常時等の対応**

㊳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか。

㊴非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

㊵虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。

㊶どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。

㊷食物アレルギーのある子どもについて、対応がされているか。

㊸ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。





【改善目標、工夫している点など】

・事業継続計画の策定も予定しており、策定を始めている段階である。

・ヒヤリハット事例については、アクシデント報告を作成し、スタッフ間で共有をしているが、より良いフィードバックに生かすよう、今後、スタッフ間で話し合う事で新しい気づきを見つけ、支援の修正、共通認識出来るよう、作成していく。